

医療技術部 臨床工学科



医療技術部長
伊藤 剛

□ スタッフ

平成28年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等
主任臨床工学技士	柳澤 雅美	3学会合同呼吸療法認定士・透析技術認定士
臨床工学技士	清水真樹子	3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	川西 恭輔	透析技術認定士
臨床工学技士	湊 拓 巳	体外循環技術認定士、透析技術認定士
臨床工学技士	大谷 直哉	体外循環技術認定士・3学会合同呼吸療法認定士・医療情報技師
臨床工学技士	中村 健志	
臨床工学技士	井原 由奈	3学会合同呼吸療法認定士・体外循環技術認定士
臨床工学技士	町屋敷 薫	
臨床工学技士	丸宮 千冬	
臨床工学技士	瀬津健太郎	
臨床工学技士	植田 哲朗	

□ 診療科の特徴

患者さんへ安全かつ安心して、高度な医療技術が受けいただける環境づくりに努める。

□ 業務内容

臨床工学科の業務内容

臨床工学の業務は、大きく【臨床支援業務】と【医療機器管理業務】の2つの分野があります。

『臨床支援業務』:呼吸・循環・代謝に関わる生命維持装置の操作

『医療機器管理業務』:院内での医療機器の効率的な運用を行う為、機器の選定から廃棄に至るまで医療機器の総合的管理

日々高度化する医療において、不可欠な人工呼吸器(呼吸療法)・人工透析(血液浄化療法)・人工心肺(体外循環)など、生命に直結する重要な生体機能を代行する医療機器の管理と操作のプロフェッショナルとして活動しています。また、患者さんの状態に合わせて安全に最適な条件で治療の手助けを行い、病院内の医療機器全般について、いつでも、有効かつ安全・安心して臨床使用できるように運用・保守管理するという重要な役割も担っています。医療の中心にある患者さんを見据え、臨床工学技士として、必要な専門知識と技術を『工学分野』と『医学分野』を交え日々努力しています。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
国内学会	大谷 直哉、瀬津健太郎、丸宮 千冬、町屋敷 薫、井原 由奈、中村 健志、川西 恭輔、清水 真樹子、柳澤 雅美、井上 裕之 ECPRにおける当院のCEの対応とDoor to PCPS時間短縮への取り組み 日本臨床工学技士会 2016.5.14~15:京都
国内学会	湊 拓巳、峰松 佑輔、宮川 幸恵、藤井 順也、池宮 裕太、柴田 純一、榎 雅之 血液浄化装置の遠隔システムの開発と構築 日本臨床工学技士会 2016.5.14~15:京都
国内学会	井原 由奈、瀬津健太郎、丸宮 千冬、町屋敷 薫、中村 健志、大谷 直哉、川西 恭輔、清水 真樹子、柳澤 雅美、井上 裕之 当院で施行した血漿吸着の有効性と安全性について 日本臨床工学技士会 2016.5.14~15:京都
研究会	井原 由奈、瀬津健太郎、丸宮 千冬、町屋敷 薫、中村 健志、大谷 直哉、川西 恭輔、清水 真樹子、柳澤 雅美、井上 裕之 当院で施行した血漿吸着の有効性と安全性について 第35回日本アフェレーシス学会関西地方会 2017.2.5:大阪
研究会	町屋敷 薫、瀬津健太郎、丸宮 千冬、井原 由奈、中村 健志、大谷 直哉、湊 拓巳、川西 恭輔、清水 真樹子、柳澤 雅美 新型シリンジポンプの選定から運用までの臨床工学技士の取り組み 第23回近畿臨床工学技士会 2016.11.12~2016.11.13:神戸
研究会	丸宮 千冬、瀬津健太郎、町屋敷 薫、井原 由奈、中村 健志、大谷 直哉、湊 拓巳、川西 恭輔、清水 真樹子、柳澤 雅美 持ち込みNPPV管理を開始して 第23回近畿臨床工学技士会 2016.11.12~2016.11.13:神戸
国内学会	柳澤 雅美、赤井 健太郎、小川 尚、中村 健志、安 珍守、井上 裕之、赤尾 昌治 変行伝導を伴う心房細動に対して波形認識機能の再調節にて識別が可能であった1例 第63回日本不整脈心電図学会学術大会 2016.7.15~7.17:札幌
国内学会	中村 健志、赤井 健太郎、柳澤 雅美、小川 尚、安 珍守、井上 裕之、赤尾 昌治 MRI対応デバイス業務における多職種連携について 第63回日本不整脈心電図学会学術大会 2016.7.15~7.17:札幌
研究会	湊 拓巳、峰松 佑輔、宮川 幸恵、藤井 順也、池宮 裕太、柴田 純一 人工呼吸器の遠隔システムの開発 第5回日本光電循環器病研究助成平成28年度発表会 2016.12.7:吹田